

Q&A

〔愛媛県報電子化業務に係る一般競争入札〕

〔機器・設定について〕

Q 1. 仕様書の「7 業務内容 (2) 画像データの作製」において、

「①機器・設定

ア スキャニングは3CCD ラインセンサー方式のフェースアップ・スキャナで行うこと。

イ ワンショット方式のデジタルカメラ等の機器は、撮影時に解像度を厳密に管理できないため、また画像に偽色が生じるため使用しないこと。」

との記載ですが、弊社使用がブックスキャナ

BOOK2NET KIOSK

ユニカミノルタ SCAN DIVA

では上記アと異なるスキャン方式のものになります。

共に国会図書館案件で使用されているものと同じですので品質上は問題無いのですがそのあたりはいかがでしょうか。

A 1. 歴史的な価値のある原本を適切に電子化するための機能が備わっているものであって、仕様書に定めるスキャン方式と異なっているが、同様の性能を満たす場合には、認めることは可能です。

〔落札価格について〕

Q 2. 最低価格の設定はされていますか

A 2. 本件について、最低制限価格は設定されておりません。

〔原本確認の可否について〕

Q 3. 原本は恐らく県報の各号を合本したものかと考えております。

既に合本にあたり既にノド部の記載文字が内側に入っているのではと思います。

更に解体→再製本をすると更に内側を切る形になりますので、現時点で余裕があればいいのですが、再製本時には最悪文字の欠損が出るのではと危惧しております。

その状況を確認は可能でしょうか。(図や画像で示す等)

現在の状態でノドの文字から中心までの余白はおおよそどの位あるかをお教えてください。

A 3. ご認識のとおり、ノド部に文字が記載されている箇所があります。

原本確認が必要な場合には、一部ページの PDF によるご提供および、原本の私学文書課執務室内において事前確認いただけます。

ノドの文字から紙面端までの余白は、約1センチほどです。ただし、1センチ以内の箇所も含まれる可能性があります。

なお、原本は、県報各号の各冊子が一体となったものではなく、原則として全てのページが1枚1枚分かれているものを糸で綴じた状態となっており、解体時には原本を綴っている糸を切ることで原本を裁断することなく各頁を分解することが可能であると想定しております。

〔業務委託および作業場所について〕

Q4. スキャニング作業を業務委託することは可能でしょうか。
一部作業を愛媛県外で実施してもよろしいでしょうか、

A4. 入札公告「2 入札に参加する者に必要な資格」の「(3) 愛媛県内に営業拠点を有するとともに、自らの責任において本業務の作業場所を愛媛県内に確保できるものであること。」及び「(5) 直接の雇用関係を有する学芸員または文書情報管理士1級以上の有資格者を本業務の責任者とし、直接の雇用関係を有する学芸員または文書情報管理士2級以上の有資格者を本業務に従事させることにより、責任をもって本業務を実施することを誓約した者であること。」のとおり、本業務実施にあたっては、愛媛県内において本業務の作業場所を確保し、直接の雇用関係を有する有資格者を従事させることとしてください。